

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (1)

筑波四面薬師と塔のある風景



ふるさと“風”の会

まほらに吹く風に乗って
＜日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ＞

ふるさと風の文庫

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (1)
筑波四面薬師と塔のある風景

木村 進

ふるさと“風”の会

(はじめに)

奈良時代後期から室町時代初期に、法相宗を学んだ僧・徳一は都から東国にやって来た。そして延暦元年(782年)に筑波山に中禅寺を建て、これを守護するため、この東西南北の四面に薬師を配した。これが筑波四面薬師である。筑波山が長い間人々の信仰のよりどころとなっていた時はこの薬師にも多くの人々が訪れていた。しかし時代が経つにつれて、その一部は姿を消し残っている足跡も薄くなり始めている。

その四面薬師の跡を追いかけて見ると、そこには懐かしい景色が広がり、筑波裏山に並ぶ塔のある景色が迫ってきた。

(目次)

筑波四面薬師を訪ねて

- (1) 筑波四面薬師 - 菖蒲沢薬師 1
- (2) 筑波四面薬師 - 北面薬師(山寺)跡 5
- (3) 筑波四面薬師 - 東城寺(土浦) 15
- (4) 筑波四面薬師 - 椎尾薬師(桜川市) 24
- (5) 再び椎尾薬師へ 31

塔のある風景を訪ねる

- (6) 三重塔など美しい塔が並ぶ 36
- (7) 雨引観音(桜川市) 45
- (8) 富谷観音 51
- (9) 板橋不動尊 56
- (10) 来迎院多宝塔 62

その他、徳一法師の寺を巡る

- (11) 西光院(関東の清水寺) 65
- (12) 月山寺(桜川市) 68

(1)筑波四面薬師 - 菖蒲沢薬師

奈良時代の後期に、法相宗を学んだ徳一法師は若干 20 歳程の若い時に、都から東国にやってきたと言われている。

そして、常陸国などの主に山岳やその麓に多くの寺を創建していった。その後会津に行き恵日寺を興し、空海などと思論争をしたことが知られているが、今では東国に建てた寺はほとんど別の宗派になりその足跡も忘れ去られようとしている。

延暦元年(782 年)に、徳一法師が筑波山に中禅寺を創建し、この寺が名峰筑波を守る寺として守られてきました。

しかし廃仏毀釈により筑波山には筑波神社が残され、一時寺は壊され、後に復興して隣にある「大御堂」となった。

徳一法師は、万民安楽の祈願として、この筑波山の「中禅寺」の守護のために筑波山の四面に薬師如来を安置しました。

石岡地区には 2 つの薬師が配置されました。意外にこの歴史は知られていないようです。少しですが調べた内容と訪れた時の記憶などを残しておきたいと思います。

まず、最初は菖蒲沢薬師です。最近市のホームページや観光案内などのパンフレットにも登場していますので知られるようになってきました。私が最初に訪れたのはこの「薬師古道」を地元の森林組合などのボランティアの方が整備されたのを知ってからです。

その前に訪れた人の話を聞くと、山道をかき分け登っていくとその「薬師堂」の佇まいに息を飲んだといいます。

私が二度目に訪れた時は丁度薬師堂の改修と中の薬師像の修理をしている時で、薬師様はお留守でした。この山道を大きな薬師様を大八車？などで麓に運び出したようです。

三度目に訪ねた時は修理も終わり、案内板も増え、きれいになっていました。しかし、昔を知っている人やこの薬師堂の歴史を知っている人にとっては多分違和感のある姿に変わってしまったようにも思います。

観光として、訪れる人が増えることはとても良いことですが、筑波四面薬師の歴史を是非知ってから行ってほしいものだと思うようになりました。

さて、菖蒲沢の薬師古道へは、八郷地区の辻のイチゴ団地の所を山側に入っていくとすぐに材木の製材所などがあります。

ここに「薬師古道入口」の看板があり、案内看板に沿って細い上り坂を一気に登ると菖蒲沢の公民館に出ます。ここまで車で入ることもできますが、朝日里山学校に車を置いてハイキング気分で行くのが良いと思います。



公民館から少し急な山道(丸太などで階段状にしてかなり登りやすくなっています)を15分程登ると菖蒲沢の薬師堂が見えます。

この少し上から弁天池と薬師堂を見下ろす景色は石岡の景色の中でも1-2を争うほど美しい風景です。

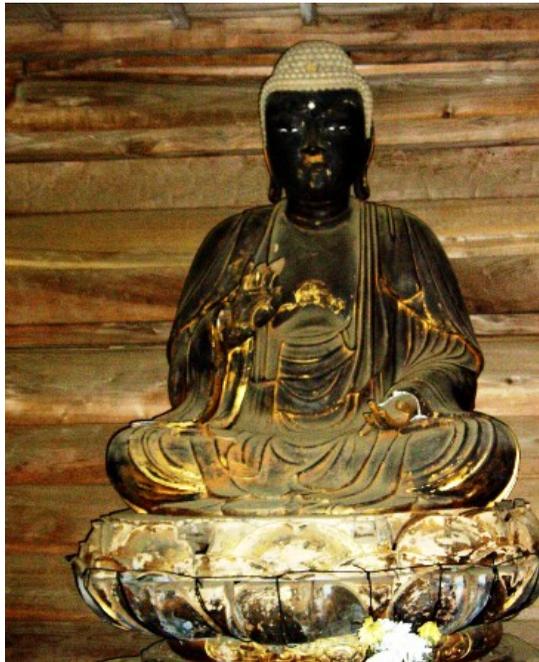
是非新緑の中、弁当でも持参しこの古道を散策し、更に上にある龍神岩から見える石岡の町の景色を見ながらノンビリされることをお勧めします。



上の写真はお堂の修復前のもので、山の中にあるお堂と池のコントラストは新緑の頃などは圧巻です。

今はお堂の登り階段の入口に石灯籠などが置かれています。

お堂のすぐ手前にあった石燈籠は、手前の山側のところに「のぞき灯籠」などと銘打って置かれています。



この薬師さまは修復前のものです。かなり大きな立派な像です。

(2) 筑波四面薬師 - 北面薬師(山寺)跡

さて、石岡市にあるもう一つの筑波四面薬師を訪れました。今は廃寺です。この寺は小幡地区の山中にあった山寺と呼ばれたお寺でありましたが、今はその痕跡もほとんど埋もれてしまい忘れかけています。

寺があった場所を訪ねてみることにしました。小幡地区を過ぎて十三塚の果樹団地に進みます。この道は筑波山の昔の筑波神社参道の道でそのまま登っていくと風返峠に至ります。



前方に筑波山の二つの頂がチョコンのぞいています。